

第2学年1組 国語科学習指導案

1 単元 じゅんじょに気をつけて読もう 「たんぼぼのちえ」

2 指導観

- 本学級の子どもたちは、これまで「どうぶつの赤ちゃん」など、時間の順序に気を付けて内容の大体を読む学習を行ってきた。また、挿絵と文を対応させて結び付けながら、筆者の考えに対して自分が感じたことを書く活動を経験してきている。そこで、時間的な順序に着目して、内容の大体をつかみ、自分の経験とつなげて読むことができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、事柄の順序を考えて内容の大体を読んだり、説明の順序に気を付けながら原因や理由を明確にしながらかんまり読んだりする学習へと発展していく。このことは、自分の考えを進んでもとうとする態度を育てる上からも意義深い。
- 本作品は、たんぼぼの花が咲いてから綿毛が飛んでいくまでの過程を、新しい仲間を増やすためのたんぼぼの「ちえ」として時間的な順序に従って分かりやすく説明している。子ども達にとって身近なたんぼぼを取り上げているため、自分の経験と結び付けながら考えることができる。また、「二、三日たつと」「やがて」など時間的な順序を表す言葉に即してたんぼぼの知恵が書かれており、順序に気を付けて読むことに適している。さらに、「それは、～だからです。」という理由を説明する文末表現も使われており、たんぼぼの知恵とその理由を明確にしながらかんまりを増やすための「ちえ」を読むことができる教材である。
- 本単元の指導にあたっては、時間的な順序に基づいて、仲間を増やすためのたんぼぼの四つの「ちえ」について追究する。また、「なぜ、そのようなことをするのか。」という理由を明らかにしながら、たんぼぼの知恵に対する自分の考えを書くことをねらう。そのために、段落構成を理解し、たんぼぼの「ちえ」について、時間を表す言葉や文末表現に着目しながら読み進めていく。
尚、本時指導にあたっては、「このころから（時間的な言葉）」や「なぜ、～」、「～からです。（理由を表す言葉）」に着目し、綿毛が風によくあたり、種を遠くまで飛ばすまでとばすために軸をのぼす「ちえ」を読み取ることができるようにする。その際、「せのびをするように」や「ぐんぐん」など、様子を詳しく表現することに不十分さがあると予想される。そこで、たんぼぼの様子を動作化することで、たんぼぼの様子を具体的に読み取ることができるようにする。そして、「今日のたんぼぼのちえについて自分の考えをかく」という観点で、自分の考えをまとめさせる。

3 目標

- たんぼぼが成長するための「ちえ」やその理由に関心を持ち、時間を表す言葉や文末表現に着目しながら意欲的に読み、自分の考えを進んでもとうとする態度を育てる。
- 時間的な順序に基づいて、事象の変化と理由を関係づけながら、仲間を増やすためのたんぼぼの「ちえ」について読むことができる。
- 時間的な順序を表す言葉や理由を表す文末表現には、事柄の順序や事実、理由を表す働きがあることを理解することができる。

4 本単元の学習活動（10時間）

- 1 題名に関心を持ち、読みのめあてを確認する。 _____ 1
- 2 時間的な順序を表す言葉と挿絵を対応させながら、内容の大体をつかむ。 _____ 2
- 3 たんぼぼの様子やその理由をもとに、たんぼぼのちえについて読み取る。 _____ 4
 - (1) 花と軸を休ませる知恵とその理由を読み取る。 ①
 - (2) 綿毛ができる知恵とその理由を読み取る。 ①
 - (3) 倒れていた花の軸がのびていく知恵とその理由を読み取る。 ①本時
 - (4) 天候によって綿毛が開いたり、しぼんだりする知恵とその理由を読み取る。 ①
- 4 仲間を増やすための「ちえ」をまとめ、賢いと考えたことを書いて交流する。 _____ 3

5 本時 平成30年6月29日(金) 第5校時 於2年1組教室

6 主眼

- 時間的な順序を表す叙述や様子を表す言葉、理由を表す言葉に着目し、たんぼぼが背を高くする様子を動作化する活動を通して、背を伸ばしていくたんぼぼの知恵や、それは綿毛が風によくあたり、種を遠くまで飛ばすためであるという知恵の理由を読み取ることができるようにする。

7 本時の学習活動(6/10)

段階	学 習 活 動	具体的な手立て ※評価						
説明	<p>1 本時学習のめあてをつかみ、文章構成をもとに時を表す言葉やたんぼぼの様子、理由を表す言葉をおさえる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">わた毛ができたころのたんぼぼのちえを読みとろう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">時を表す言葉</td> <td>このころになると (わた毛ができるころ)</td> </tr> <tr> <td>様子を表す言葉</td> <td>じくが、またおき上がります。 じくをのぼしていきます。</td> </tr> <tr> <td>理由を表す言葉</td> <td>なぜ、~だろうか。(問い) ~からです。(理由)</td> </tr> </table>	時を表す言葉	このころになると (わた毛ができるころ)	様子を表す言葉	じくが、またおき上がります。 じくをのぼしていきます。	理由を表す言葉	なぜ、~だろうか。(問い) ~からです。(理由)	<p>【予習】 本時のたんぼぼの様子が分かる叙述に線を引く。</p> <p>【困難度査定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「せのびをするように」や「ぐんぐん」など、様子を詳しく表現することに不十分さがあると予想される。
時を表す言葉	このころになると (わた毛ができるころ)							
様子を表す言葉	じくが、またおき上がります。 じくをのぼしていきます。							
理由を表す言葉	なぜ、~だろうか。(問い) ~からです。(理由)							
理解確認	<p>2 たんぼぼの軸が起き上がる様子や理由が分かる叙述に着目し、たんぼぼの「ちえ」について内容を読み取る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ちえの叙述</td> <td>せのびをするように、ぐんぐんのびていきます。</td> </tr> <tr> <td>解釈</td> <td>上に向かっていっぱいびる。 他のものよりも高くのびる。</td> </tr> <tr> <td>知恵の理由</td> <td>たねをとおくまでとばすことができるから。</td> </tr> </table> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たねをとおくまでとばすために、じくをのぼしていくちえ。</p>	ちえの叙述	せのびをするように、ぐんぐんのびていきます。	解釈	上に向かっていっぱいびる。 他のものよりも高くのびる。	知恵の理由	たねをとおくまでとばすことができるから。	<ul style="list-style-type: none"> ○ たんぼぼの様子が分かる叙述に基づいて動作化したり、言葉を抜いたりしながら、たんぼぼの知恵や背をのぼす理由を具体的にとらえさせる。
ちえの叙述	せのびをするように、ぐんぐんのびていきます。							
解釈	上に向かっていっぱいびる。 他のものよりも高くのびる。							
知恵の理由	たねをとおくまでとばすことができるから。							
理解深化	<p>3 「なぜ、たんぼぼがたねを遠くまでとばすのか」という理由をたんぼぼの知恵とつなげながら読み深める。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たねをすこしでもとおくまでとばすと、なかまをふやすことができるから。 ・たねに風があたると、あちらこちらにたねがとんで、なかまがふえるとうれしいから。 </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">なかまをふやすために、たねをとおくまでとばす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の挿絵と比べたり、たんぼぼの様子を動作化したりしながら、たんぼぼが種を遠くまで飛ばす理由をたんぼぼの知恵とつなげて考えさせる。 ※ たんぼぼの様子を根拠としながら、綿毛が風によくあたり、種を遠くまで飛ばすことができるという知恵の理由を読み取ることができる。 						
自己評価	<p>4 本時学習を振り返り、次時の学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を振り返る。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たんぼぼのじくはたおれたあと、またおきあがるなんておもしろいちえだと思いました。 ・高くすることで、風にあたってたねを遠くまでとばして、なかまをふやそうとするなんて、すごいと思いました。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の課題を確認する。 ・次のたんぼぼの様子が分かる叙述に線を引く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日のたんぼぼのちえについて自分の考えをかく」という観点で、自分の経験と結び付けながら、自分の考えをまとめさせる。 						